



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会

実行委員会会長

鹿児島県知事 **塩田 康一**

## 発刊のことば

天皇皇后両陛下をはじめ多くの皇族方の御臨席を仰ぎ、「熱い鼓動風は南から」をスローガンに開催いたしました特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」及び特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」は、両大会合わせて延べ約74万人の方々に御参加いただき、大成功のうちに幕を下ろすことができました。

両大会は、当初2020年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で3年延期となり、国体は1972年以来51年ぶり2回目の大会として、全国障害者スポーツ大会は本県で初めて開催されました。

延期の決定に際しては、文部科学省、スポーツ庁、日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会、また、佐賀県や滋賀県をはじめとする後催県の皆様などに多大な御理解・御協力をいただきました。改めて心からお礼を申し上げます。

両大会においては、観覧者の人数制限等がないコロナ禍前と同様の大会を開催することができました。大勢の観客の大声援の中で、全国から集まった選手が生き生きとプレーする姿は、県民をはじめ全国の人々に夢と感動を届け、両大会が目指していた「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴する大会として、県民の心に残る素晴らしい大会となったものと考えております。

昨年は、奄美群島の日本復帰70周年の節目の年に当たり、奄美群島で実施された国体の競技会には、「奄美群島日本復帰70周年記念」の冠称を付して開催しました。群島内で初めて国体競技が実施されたことは、島民の方々にとっても、大きな喜びであり、奄美群島の日本復帰の歴史的な意義を広く示す大変有意義なことであったと考えております。

本県選手団においては、国体では男女総合、女子総合ともに第2位、全国障害者スポーツ大会では過去最多となる196個のメダルを獲得するなど素晴らしい成果を収めました。今回の好成績は、選手や監督の皆様はもちろん、県スポーツ協会、競技団体などが競技力向上に努めてこられた成果であり、県民に大きな夢と感動をもたらしていただいたことに深く感謝申し上げます。

今年は、「SAGA2024」第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会が佐賀県で開催されます。最後の「国体」となった鹿児島から、最初の「国スポ」となる佐賀へ、無事バトンをつなぐことができました。両県での大会は、2年連続での九州開催となることから、「双子の大会」として、今後とも「SAGA2024」国スポ・全障スポを両県で盛り上げていくとともに、スポーツをはじめとした様々な交流を行う、鹿児島・佐賀エールプロジェクトの取組を引き続き進めるなど、更なる関係深化を図ってまいりたいと考えております。

結びに、長期にわたって開催準備を進めてこられた方々、競技会の運営を担っていただいた市町村や競技団体、補助員や開閉会式での式典出演者、都道府県応援団に参加して下さった児童・生徒のほか、様々な面から両大会を支えていただいた医療、輸送、宿泊、飲食、警備、自衛隊、ボランティアなどの関係者、選手の応援やおもてなしをして下さった県民の皆様、募金・企業協賛に賛同いただいた団体や個人の方々など、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げます。発刊のことばといたします。